**３がい・７がい（）**

**（）（）**

10　との・（）

１　の

（１）の

・　において、によるやによるののや、においてもがいのにしたがわれるよう、にしきかけます。

11　・のの

《と》

・　・にえて、４５に「によるのびびににるのにする」（・）がされ、がいのあるによるの・、がいのにしたなどにするをにすることがめられています。

　　　そのため、がいのにした（）ののやののほか、がいのにしたのやの・をい、がいのあるががいのないとにのをられるようにのをることがです。

　　　また、がのをつであることについて、くへのをめるほか、をするためになをうがあります。

《え》

　・　（）のにより、のにりむとともに、やの、にづくをすることで、がいのあるのをしとをします。

また、にづき、としてのののにするをし、にがいのあるがあらゆるでをできるのをします。

（１）におけるの

【の】

・　（）のにより、がいのあるがにを・できるよう、のにりむことがです。

【】

①　の

　・　（）のによるもがいやすいをしたをします。

　・　がいのあるののにおけるをするため、にするやのなどにめ、やのをります。

・　がいのあるやそのからののにするをするがいのにより、のびののをります。

（２）の

【の】

・　がいのあるののげとなるをして、がいのにわらず、てのがみんなでするらしやすいのをにのにするのをめることがです。

【】

①　の

・　がいやがいのあるへのがまるよう、や（）、（）などのなをし、ののをります。

・　がいのあるや、の、となるへしいをわかりやすくえるため、をし、、としたのみづくりをめます。

②　の

・　がいのあるにするなど、がりやすいのをめます。

・　、、、、・、、がいのにじたののため、ののをするほか、がいやすいのにめます。

・　のや、やでのがなでも、なをできるをするため、のをします。

③　の

・　やのの・、ののため、のびにがいのあるにるをします。

・　やによるのや、「ほっかいどう」の・のやへの（）・の、へのみげのなどにより、のやになをします。

・ がするについて、にし、やの、がいのにしたにめるようきかけます。

・　がいのにじたながあることについて、のやをります。

④　のびの

・　、、（）、（）、ろう・、け、の・については、、がそれぞれのをったでとし、ののをります。

・　にし、がいのにじたのびのをすとともに、がされていないについて、の、のにけたきかけにめます。

・　がいのあるのをするため、やとし、、のやのなどをり、そのとなるのにめます。

（３）としてのの

【の】

・　にがであることをくしていただくことやをするのにりむことにより、これらをめ、をいやすいのをににづくのをめることがです。

【】

①　の

・　がのであることについて、やのなをじてし、のやをります。

・　として、へののにより、・のにをるのにめます。

・ 、などのにして、がのであることについてのなどをいます。

・ けに（）をしたをするなど、がくをするをけます。

・ をにしたのにより、がしてをいるようりみます。

②　をするの

・　として、にがいのあるが、からそのとともにをするをします。

12　にえたづくりの

【と】

　・　のまちづくりにえ、においても「、のののにする」などのがんでいますが、・といったのなどをまえ、もがでにできるのまちづくりをし、まいや、、などのをるがあります。

　　　また、がいのあるがにおいて、・してすることができるよう、・のをるがあります。

【え】

・　がいのあるもないも、すべてのがにおいて、にできるよう、まいから、まちなかまでし、でなのと・をします。

（１）まい・まちづくりの

【の】

・　がいのあるのとをし、もがでらしやすいのをするため、がいのあるがしてできるまいの、のをするとともに、がいのあるにしたのまちづくりのがです。

【】

①　まいの

　・　がいのあるののまりやにより、されたへのがしていることから、のやとのにしながらにおけるのをめます。

　・　がいのあるがみれたやでしてらしけることができるよう、ととのにより、におけるにするのをります。

・　がいやがいのあるにするのなどにめ、がいのあるが、ににできるようします。

　・　がいのあるののをめるため、やのすりなどののをします。

　②　のまちづくりの

　・　のがする、などなにおいてのまちづくりにづき、がいのあるにしたのをします。

・　のまちづくりなどにづき、がいのあるをはじめ、もがでにできるのまちづくりをにするため、や、、などがにもしやすいものとなるよう、、などへのや、にめるとともに、のまちづくりにおいて、、、、、、、などのいのととなってのまちづくりにみます。

・　のまちづくりのやまちづくりのなどにより、なでななど、わかりやすいのをります。

　・　や、について、がいのにしたなをめるため、のをしへのなをいます。

　・　がいのあるが、やなどのをして、や、などをにできるよう、のにめます。

（２）・のの

【の】

・　のにまらず、がいのあるのなにするため、のやのなどをすることがです。

【】

①　の

　・　のについては、のまちづくりにったがわれるようにきかけるとともに、がいのあるがをにできるよう、ののについてきかけます。

　・　をするでがいのがいのあるのをするため、にづくやにする（・、）をします。

②　のの

　・　にがいのあるやいすなどののげとなるのやのなどについて、とのにより、・にめます。

・　でなができるよう、によるをします。

・　におけるののため、、、をとした、のをにきかけます。

③　への

・　がいのあるがになどをしむことができるよう、のまちづくりにったののやをするとともに、がいのあるのそれぞれのがいにされたやなどののにめます。

（３）・の

【の】

・　がいのあるがでしてらすためには、から、やのによるのなどにでき、なときにそのがいのにじたながけられるのづくりをめることがです。

【】

①　におけるの

・　におけるがいのあるのののにけ、のがむよう、をするとともに、がした「における・がいののき」などにより、のやのをします。

・　にして、におけるがいのあるへのやなどをりまとめた「のがいの」や「がいのあるへのとのための」ののをり、やのにおけるがいのあるへののにめます。

・　がいのあるがにおいて、がいにじたをけしてできるよう、におけるのをするとともに、その・になのへのやによるのであるやをうことをとした「（）」によるのをいます。

・　がいのあるへなの・をかつにえるよう、のをるため、にする・のにめます。

② によるのづくりの

・　がいのある、、などがにえいながららすことができるのづくりをするとともに、をしてできるようのをりながら、がいのあるがなをけられるのづくりをします。

・　がいのためのななどが、などにわないよう、とのによるのにめます。

・　したがいのあるのには、にへのがながあることから、とのにおけるをっていきます。

・　がいのあるへのなやなどをさせながら、やのにおけるづくりをめます。

また、にえたについては、「」や「」をまえ、づくりをめます。

・　に、がいのあるののににし、におけるのをするため、でにするをう「（）」をするとともに、なをすることをに、による「」をします。

③ などにするのの

・　がした「におけるののき」をし、におけるのをめます。

・　とのでした「におけるの」にづき、におけるののや、などへの・をっていきます。

　　　また、のにしても、において、できる・のをできるよう、ののについてきかけます。

・　やがしたでもなをできるよう、における（）の、・のなどをします。

・　をするがいのあるがしてできるように、にるのためのやにるのにするのをするとともに、やとしのにめます。

・　にするにおいて、ののについてするとともに、のにより、そののにしてなのや、や（）の、のについてし、なをじていないにしては、がられるようします。

・　にするにおいて、からのをし、とまんのをします。また、のにより、なをじているかをし、なをじていないにしては、がられるようします。

・　において、ののなど、にをじるがあるには、とし、なや、のにじた、にするをうことができるようからをめます。

・　でがわれるがした、のやをするため、やかにをするなどし、のやをいます。

・　のやのをまえ、にしやについてをいます。